

村政を問う

一般質問に4人登壇

一般質問とは

定例議会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり村当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴し事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

波多野宏美 議員

P10

- 1 独自の「子育て・教育環境」は
- 2 人口減少対策は
- 3 農業振興は
- 4 総合グラウンドの整備は
- 5 意識改革は

川田 敏彦 議員

P12

- 1 J Aとの連携強化と大消費地対策は
- 2 高校生までの医療費の無料化は
- 3 北部第一学童保育所の開所は

村上 慎一 議員

P11

- 1 通学路等における安全確認は
- 2 廃棄物発生量の削減目標等
- 3 役場職員の意識改革は
- 4 補助金返還に対する説明は

南 千晴 議員

P13

- 1 本気で待機児童対策を
- 2 子育て世代包括支援センターに臨床心理士を
- 3 災害時の赤ちゃんとママのために

紙面の都合により、質問の内容を要約してあります。
会議録の詳細は、[榛東村議会のホームページ](#)に掲載します。

[榛東村議会](#) クリック



6月11日 開会初日



波多野宏美 議員

Q 村の子育て支援対策は

A さらに充実していきたい

独自の「子育て・教育環境」は

問

妊娠・出産・産後ケアから、ひとり親支援まで切れ目のない子育て支援はどのようなのですか。

答

健康保険課長 村でも本年度の新規事業として、産婦健康診査と妊産婦歯科検診を実施しています。妊娠中、そして出産後の母親が心身ともに健康で安定した精神状態で過ごす事が出来るよう支援するものです。

人口減少対策は

問

人口減少対策についてはどうか考えていますか。

答

企画財政課長 「子どもを育てるなら榛東村」という村長の考えのもと、若い方々の経済的負担を減らすため子育て支援に努めています。他にも就農支援や起業・創業支援、通勤時間の短

縮や企業進出を期待して幹線道路の整備に努めています。

農業振興は

問

農業・林業の振興についてはどうなっていますか。

答

農業振興課長 農業・林業を取り巻く環境は、どちらも担い手不足、また後継者不足など、難しい課題が残っています。

今後、農地パトロールを引き続き実施、また、農業委員会を中心に地域で十分話し合いを行い、関係者が一体となって担い手の確保、耕作放棄地の発生防止解消をしていきます。

総合グラウンドの整備は

問

スポーツ施設・総合グラウンドの整備はどうなっていますか。

答

教育委員会事務局 局長 総合グラウンド等の整備については、28年度、29年度の2カ年度にかけまして、総合グラウンドの改修工事を実施したところです。この、改修工事につきましては、老朽化対策、防災機能の強化の両目的を持って行った工事です。総合グラウンドのシェルトターの設置、多目的運動場のグラウンドの土の入れかえ、テニスコートの一部人工芝の張りかえ、あとはサッカー場の人工芝全面張りかえ等の内容です。

意識改革は

問

課長を中心に村をどう動かしていくのか、また意識改革していくのですか。

答

副村長 村の仕事というものは、村民の信頼や協力なくしては、一歩も進まないと考えています。それでは、信頼をどうやってかち得るかといえますとそれは真面目に、真剣に、一生懸命日々の仕事に取り組みたいという以外にはないと思っております。また、役場の組織には9の課と2つの局があります。どの課、どの局でも優劣はなく、どの部署も村民生活に直接するという大切な役割を担っています。



新しくなった人工芝



むら かしん いち
村上慎一
議員

Q 榛東版総合戦略の達成見込みは

A 目標に近づけるよう努力します

通学路等における安全確認は

問 大津市で散歩中の園児2名が死亡した事故が発生しましたが、村では通学路等の危険箇所を点検しましたか。

この取り組みの目的は、年度の早い時期に児童と保護者、また学校が道路状況や交通量、危険箇所をお互いに確認しあうことができ、子供目線では気づかない危険に保護者が気つき、危険箇所と報告された箇所については、担当課や関係機関、警察などに伝えて対応を講じたり、地域において通学路の変更等を実施しています。

答 教育委員会事務局 局長 大津市の事故が発生した3日後の土曜日に、PTAの協力を頂き、小学生と、その保護者のごみ拾いをしながら通学路の点検を、村のクリーン作戦と同じ日に行いました。



迅速な対応で安全に

廃棄物発生量の削減目標は

問 多くの先進自治体では積極的なごみ減量目標を掲げての取り組みがみられますが、村では、独自の廃棄物削減目標や取り組みはありますか。

答 住民生活課長 毎年、村一般廃棄物処理事業計画書を作成し、年度当初に告示しています。排出抑制の具体的な取り組みについては、生ごみ処理機購入費用助成や資源ごみ回収事業への補助

などがあります。また、指定ごみ袋を購入してもらう事で、ごみの搬出に係るルールの遵守に効果はあると考えますので、引き続き実施をしたいと思います。

役場職員の意識改革は

問 3月定例会で村長が職員に対して業務への取り組みや住民に顔を向けての姿勢を熱く述べたが、意向は確かに伝わったのですか。

意見を聞くようにと庁内会議等でも口癖のようになり続けている言葉です。今後についても初心に戻り、職員一人一人が住民に目を向けて職務にあたるように言っています。

答 村長 私に背を向けても住民の

補助金返還に対する説明は

問 地球屋さんから補助金の返還に対する説明を求められています。説明が、いつ行いますか。

付されない状況が続けば、次の処分も考えており、必要な処置をとっていきたくと思っています。

答 村長 会計検査院の検査については、地球屋さんも承知で検査を受けているところです。今後も納



かわだとしひこ
川田敏彦
議員

Q 地場産農産物首都圏へのPRは

A 葛飾区産業観光部と連絡調整

J Aとの連携強化と 大消費地対策は

問 第6次総合計画
では、「村の基
幹産業は農業」と位置
づけられています。現
状は、産業振興課の資
料によりますと、20
10年と2015年の
5年間に総農家数は6
78戸から613戸、
9割に減少。販売農家
数も88戸から70戸、兼
業農家数262戸から
210戸と8割を切り
ました。耕作放棄地は
1・6倍に増えていま
す。今後の農政をどう
考えていますか。

答 村長 農業をと
りまく状況は難
しいのが現状です。昭
和村の朝採りレタス、
嬌恋のキャベツのよう
に特化できるものがで
きれば、PRもでき、
耕作放棄地も減りま
す。いろいろな面で包
括的に考えていきます。

問 第6次総合計画
ではJ Aとの連
携強化が強調されてい
ます。現状はどうですか。
産業振興課長

答 J Aとは農振協
議会、様々な協議会に
農協理事、支所長、組



基幹産業と位置づけられている農業の振興を

合長に委員になっても
らっています。J Aの
情報、村が持っている
情報を共有しあって、
農業施策を一生懸命考
えています。

問 村は、四十数万
人の人口を持つ
東京都葛飾区と農業振
興、観光振興について
協定を結んでいます。
葛飾区の企画部担当者
が「村から積極的にPR
を整えています。」
Rしてもらえば、区は
応える用意がある」と
言っていると聞きました。
協定の進捗状況は
どうですか。

答 産業振興課長
現在、葛飾区産
業観光部と随時連絡調
整をしています。村の
市民農園活用を葛飾区
のホームページに載せ
てもらうなど、現在調
整しています。

問 4月の村長選
で、医療費無料
化を高校生までに広げ
るといふ真塩村長の公
約が出されました。子
育て支援、人口減対策
など積極的・有効な施
策です。いつから無料
化になりますか。

答 村長 現在、シ
ステム改修、医
師会、国保連合会との
調整など職員が検討を
行っています。令和2年
から実施するという強
い決意でやっています。

問 入院・外来につい
てはどうですか。
村長 担当課に
入院・外来を含
めて検討するよう話し
ています。

問 高校生でも通信
制、定時制など
十八歳を超える生徒も
います。検討はどうで
すか。

答 村長 十八歳の
高校卒業までの
人、中学を卒業してが
んばっている人などに
どのようなことができ
るか検討しています。

北部第一学童保育所の開所は

問 社会福祉協議会
と結んだ管理協
定書では、北部第一学
童保育所を含め、5カ
所の学童保育所開設を
協定しました。現在、
北部第一学童保育所が
開所せず、4カ所と

なっています。開所の
めどはどうですか。
村長 開所にあ
たって指導員を
募集しましたが、指導
員が足りていません。
解決すべく進めたいと
思います。

開所せず、4カ所と

開所せず、4カ所と



みなみ 南 ち 晴 議員

Q 待機児童の解消を早急に

A 保護者の要望に配慮し個別に対応

本気で待機児童対策を

問 現在、待機児童はどのくらいいますか。

答 住民生活課長 現在23人います。

他にも入所を希望し、定員超過で求職活動を休止している方や育児を延長している方が15人います。合わせて入所保留は38人です。

問 どのような基準で入所決定をしますか。

答 住民生活課長 昨年4月の入所の児童から点数制で決

めています。保護者の就労や介護等の拘束時間を基本点とし、家族構成や兄弟入所等は加

点して優先順位を決めています。毎月開催して

いる園長会議で、入所希望する2か月前の児童の選考をしています。

問 現状では3園とも定員超過で、これ以上の入所は難しい状況のようです。今年度予定されている南部保育園の増築が完成した場合には何人入れますか。

現状では3園と定員超過で、これ以上の入所は難しい状況のようです。今年度予定されている南部保育園の増築が完成した場合には何人入れますか。



待機児童をゼロに

答 住民生活課長 0〜2歳児の低年齢児15人の予定です。

問 これだけでは足りません。早急な対応と今後の保育ニーズ等を把握し、中期で考えていく必要があるのではないですか。

答 村長 この状況を看過することはできません。南部の増築も県に働きかけ、3

歳児以上は幼稚園への入園も含めて考えます。

答 住民生活課長 今後も保護者の要望に配慮しつつ、個別に対応していきま

す。また、子ども・子育て新事業計画の改定版を策定する会議を進めていきます。

子育て世代包括支援センターに臨床心理士を

問 来年度末までに設置に努めなければならぬ「子育て世代包括支援センター」の計画はどうなっていますか。

答 健康保険課長 来年度初めから設置できるように考えていきます。場所は保健相談センター内の予

定です。相談体制を充実するために臨床心理士を配置してもらえないですか。

答 村長、心のケアに対応する支援も含めて、採用や職員配置をしたいと考えています。

災害時の赤ちゃんママのために

問 液体ミルクや食物アレルギー対応も含む離乳食などの乳幼児用の備蓄はありますか。

答 総務課長 乳児に特化した食料の備蓄はありません。液体ミルクは本年度中に調達する予定です。離乳食も調査しながら調達を検討します。

時の乳幼児栄養に関しては国際的なガイドラインがあります。それに準拠した支援体制づくりを防災計画にも盛り込んでもらえないですか。

答 総務課長 乳幼児は要配慮者です。乳幼児の栄養対策は防災計画にないの

で、必要な見直しを行いたいです。